

大きな溝跡が検出されました！（じじんぎいせきだい地神祇遺跡第3次調査ちょうさ）

令和4年4月1日（金）～5月17日（火）までの間、地神祇遺跡第3次発掘調査を行いました。



調査区全景



第1号溝跡 検出状況

地神祇遺跡は、深谷市後榛沢地内に所在する遺跡です。過去の調査では古墳時代の竪穴建物跡や溝跡、平安時代の井戸跡などが確認されています。

今回の調査では、溝跡3基、竪穴建物跡1軒、土坑19基、ピット8基が検出されました。中でも第1号溝跡は、掘削深度が約1.2mにも及ぶ大規模なもので、内部から土師器片や須恵器片が出土しました。これらの特徴や土の堆積状況、遺跡の立地環境を踏まえると、この溝は6世紀前半以前の古墳時代に排水等を目的として掘削されたものと考えられます。

また、溝の周囲からは平安時代のもものと見られる土坑等も検出され、第7号土坑からは、比較的状態の良い土師器や須恵器の坏も出土しました。



第1号溝跡 土層堆積状況



第7号土坑 遺物出土状況